

ノーリツ、CDP^{※1}「気候変動レポート 2023」で 2年連続上位評価「A-(マイナス)」獲得

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:腹巻知、資本金 201 億円、東証プライム上場)は、環境評価の情報開示に国際的に取り組む非政府組織(NGO)である CDP^{※1} から、気候変動に対する取り組みや情報開示が優れた企業として 2 年連続で「A-(マイナス)」評価に認定されましたのでお知らせします。

当社グループは、ガス・石油機器業界初のエコ・ファースト企業としていち早く気候変動への対応に着手し CO2 削減に取り組み、2015 年より CDP^{※1} に基づく環境マネジメントを開始しました。また、2022 年 2 月には「ノーリツグループのカーボンニュートラルに向けた取り組み^{※2}」を掲げ、2050 年のカーボンニュートラル実現に向けた新目標を設定しました。具体的には、2030 年までに国内事業所による CO2 排出量を 50%削減(2018 年比)、国内で製造・販売する製品使用時の CO2 排出量を 30%削減(2018 年比)、さらに 2050 年には海外を含む事業所・製品による排出量を実質ゼロ化することを目標に取り組んでいます。

今後も、喫緊の課題である気候変動対策を加速させ、透明性の高い環境情報開示を推進し、社会と共にカーボンニュートラル実現を目指してまいります。

※1 : CDP

www.cdp.net

CDP は、英国の慈善団体が管理する非政府組織(NGO)であり、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムです。企業や自治体から収集した環境に関する情報開示をデータ分析し、上位から下位に向けて A から D のスコアで評価しています。

※2 : ノーリツグループのカーボンニュートラルに向けた取り組み

https://www.noritz.co.jp/company/news/assets/NRcarbon_2.pdf

*ニュースリリースに記載されている内容は、発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますので、ご了承ください。